



公式ケータイサイト
<http://fctokyo.sportsinfo.jp>



<http://line.me/ti/p/@fctokyo>



https://twitter.com/fctokyo_express



<https://www.facebook.com/fctokyo>



<https://www.youtube.com/user/fctokyochannel>



https://www.instagram.com/fctokyo_goods

<http://www.fctokyo.co.jp>

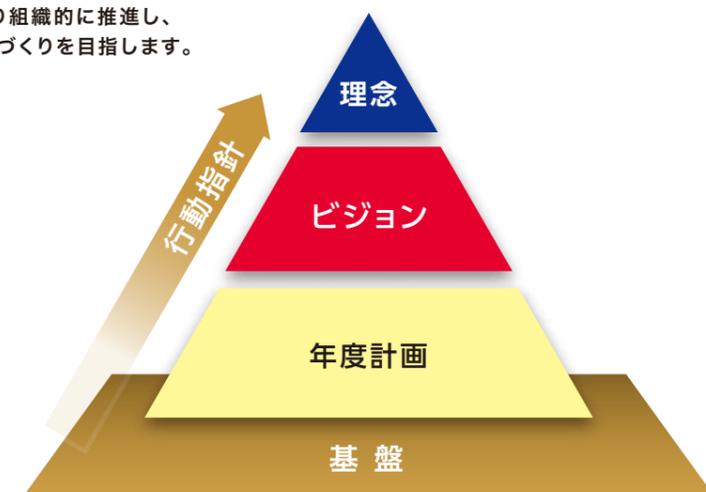
ACTIVITY REPORT 2016

BASIC PHILOSOPHY

FC東京の基本理念

次に掲げる理念の具現化を地域社会・行政・企業の協力体制により組織的に推進し、長期的な視点から真の「都民のための地域密着型Jリーグクラブ」づくりを目指します。

- 1 サッカーを通じて青少年の健全な心身の発達および都民の健康や喜びづくりに寄与し、スポーツ文化の振興ひいては地域社会の発展、国際交流・親善に貢献する。
- 2 将来的には、サッカー以外のスポーツを含め、競技スポーツとレクリエーションの両分野で地域社会に貢献できるような「生涯スポーツ」を視野に入れたクラブを指向し、これをJリーグクラブの組織づくりをベースとし、その発展・拡大により実現していく。
- 3 都民のシンボルとなり、青少年に夢を与える首都東京に相応しいサッカーチームを育て、多くの都民のファンをつくり、都民の連帯感（地域社会への帰属意識）の醸成・地域社会の活性化に寄与する。
- 4 サッカークリニック・サッカースクール・各種イベントを中心に、学校や各地域におけるサッカー活動との連携・協力を図り、青少年をはじめ都民各層に対するサッカーの指導・普及活動に努める。



2020 VISION

SO THAT TOKYO SHINES

～東京が輝くように～

ファン・サポーターをはじめとしたステークホルダーのみなさまに
 “より価値のあるもの”を提供していくために、クラブの従来のイメージを打破し、
 FC東京が強く、先進的かつダイナミックなクラブとして変わっていくこと、
 そしてホームタウンで開催される東京2020オリンピック・パラリンピックが成功し、
 『東京』が光り輝くように！

強く、愛されるチームの輝き

アジアトップレベルの育成体制、
 そして、アジアで戦えるチームに
 進化していきます。

アジアトップレベルの育成体制の構築

J1リーグ戦制覇、アジア制覇の実現

FC東京ブランドの輝き

FC東京ファミリー
 (FC東京に関わるすべてのみなさま)の
 喜びにつながる価値を提供していきます。

FC東京ファミリーの拡大

スタジアム環境のさらなる充実

FC東京ブランド価値の向上

ホームタウン東京の輝き

地域のみなさまに愛され
 必要とされる存在となり、
 東京2020オリンピック・パラリンピック
 に貢献していきます。

地域コミュニティへの貢献

東京2020オリンピック・パラリンピックへの貢献

具体的数値目標

10人 アカデミー出身 トップチーム登録数	30,000人 J1リーグ戦 1試合平均ご来場者数	12,000人 SOCIO	30,000人 クラブサポート メンバー	50億円 営業収入	30校・5,000人 サッカースクール (派遣校含む)
------------------------------------	--	-------------------------	-----------------------------------	---------------------	--

強く、愛されるチームをめざして



東京フットボールクラブ株式会社
 代表取締役社長
 大金 直樹

ごあいさつ

日頃よりFC東京に多大なるご支援、ご声援を賜りありがとうございます。

2016シーズンは2012年以来、4年ぶりにAFCチャンピオンズリーグに出場し、グループステージを突破してラウンド16進出を果たしました。リーグ戦では、終盤に白星を積み重ねたものの、年間順位が9位と成績・内容ともに満足いくものではありませんでした。

より強いチームを構築していくことは容易なことではありませんが、日々の積み重ねを見つめ直し、ひたむきさや最後まで諦めない気持ち、泥臭く1点を取るゴールへの執着心、そのような“FC東京らしさ”をもう一度取戻し、再構築してまいります。

また、2016シーズンは育成型クラブとして大きな一歩を踏み出しました。23歳以下を中心としたFC東京U-23を編成し、J3リーグに参加することで、課題だった19～23歳の育成、ユース年代のレベルアップ、育成スピードの向上を図りました。

その結果、J3リーグで活躍した選手がJ1リーグのピッチでも活躍を見せ、また、U-18選手がJ3リーグの舞台を経験し、プロの選手と戦うことで同年代の相手を圧倒できるようになり、FC東京U-18は日本クラブユース選手権大会優勝、Jユースカップ優勝の2冠を果たしました。J3リーグと平行して試合が続いていくなか、出場するメンバーが変わりながらも結果を残す

ことが出来たのはユース年代の底上げが出来ている証だと思えます。トップチームから一貫した指導はもちろん、環境の整備にもより一層の力を注いでまいります。

そしてホームタウン活動では、味の素フィールド西が丘(北区)・江東区夢の島競技場(江東区)・駒沢オリンピック公園陸上競技場(世田谷区)でのJ3リーグ開催に伴い、より多くの地域の方との接点が増えました。東京都全域をホームタウンとするクラブとして多くの皆さまに応援していただけるよう、これからもより良い関係づくりに取り組みたいと思います。

最後に、2017シーズンよりJ1リーグは2ステージ制から1ステージ制に戻ります。

また、放映権がDAZNへ移ることでJ1リーグからJ3リーグの全ての試合が視聴できるようになり、Jリーグを取り巻く環境が変化します。クラブとしてもこの変化にしっかりと対応してファン、サポーターのみなさまに満足いただけるようにしていかなければなりません。

そして、FC東京が「強く、愛されるチーム」となるため、より一層の覚悟と責任を持ってタイトル獲得を目指し戦ってまいります。

今後ともFC東京へ変わらぬご支援、ご声援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

会社概要

会社名
 東京フットボールクラブ株式会社
 TOKYO FOOTBALL CLUB Co.,Ltd.

創立
 1998年10月1日(都民の日)

主な事業
 1. プロサッカーチーム「FC東京」の運営
 (1999年よりJリーグディビジョン2に加盟)
 2. サッカースクールおよびサッカーの普及活動
 3. チームのオリジナルグッズの製作・販売

所在地
 [本社]
 〒135-0003
 江東区猿江2-15-10
 [TEL]03-3635-8985
 [FAX]03-3635-8974

資本金
 1,137,000,000円
 (2017年1月31日時点)

[小平グランド] 〒187-0001
 小平市大沼町3-14-1
 東京ガス武蔵野苑内
 [TEL]042-342-8950
 [FAX]042-342-8973

[味の素スタジアム事務所] 〒182-0032
 調布市西町376-3
 味の素スタジアム内
 [TEL]042-488-6255
 [FAX]042-488-6253





FC東京の歩み

東京ガスフットボールクラブを前身に、99年「FC東京」としてJリーグに参入。
以来都民のためのJクラブとして、念願のリーグ戦タイトル獲得を目指しています。

■クラブの歴史

- 1935年 前身である東京ガスフットボールクラブ創部。
- 1986年 東京都リーグより関東リーグに昇格。
- 1991年 全国地域リーグ決勝大会で優勝。JSL2部へ昇格を果たす。
- 1992年 JFLに加入。
- 1997年 天皇杯でJリーグ勢を3連破し、準決勝へ進出。
- 1998年 JFL念願の初優勝を飾る。Jリーグディビジョン2(J2)に参入決定。東京フットボールクラブ株式会社を設立し、東京初のJリーグクラブが誕生。
- 1999年 ヤマザキナビスコカップベスト4進出。J2リーグ戦では2位の成績で、1年でJ1昇格を決める。
- 2000年 J1初めてのシーズン。1stステージ6位、2ndステージ8位。総合7位。
- 2001年 東京スタジアム(現 味の素スタジアム)開業。2011VISION発表。
- 2004年 ヤマザキナビスコカップで決勝に進出、浦和レッズにPK戦の末勝利し、念願のクラブ初タイトルを獲得。
- 2008年 クラブ創立10周年を迎える。第32節まで優勝の可能性を残すも、J1リーグ戦6位でシーズン終了。ヤマザキナビスコカップベスト8。天皇杯ベスト4。
- 2009年 ヤマザキナビスコカップで決勝に進出、川崎フロンターレに勝利し、クラブ2つ目のタイトルを獲得。チームマスコット「東京ドロンパ」が登場。
- 2010年 J1リーグ戦で16位となり、J2降格。「2010 Jリーグアウォーズ」の最優秀育成クラブ賞を受賞。
- 2011年 J2リーグ戦で優勝、1年でJ1復帰。第91回天皇杯で初優勝、ACL出場権獲得。
- 2012年 FUJI XEROX SUPER CUP 2012に初出場。ACLラウンド16に進出。J1リーグ戦10位。
- 2014年 J1リーグ戦9位。リーグ戦においてクラブ新記録である14試合無敗を達成。
- 2015年 2ステージ制の導入。J1リーグ戦1stステージ2位、2ndステージ6位。年間4位。ヤマザキナビスコカップベスト8。天皇杯ベスト8。ACLプレーオフ出場権を獲得。
- 2016年 ACLラウンド16進出。J1リーグ戦1stステージ9位、2ndステージ9位、年間9位。YBCルヴァンカップベスト4。天皇杯ベスト8。FC東京U-23を編成、J3リーグ10位。

■2016年の戦績

順位	チーム名	勝点	勝	引分	敗	得点	失点	得失差
1	鹿島アントラーズ	59	18	5	11	53	34	19
2	浦和レッズ	74	23	5	6	61	28	33
3	川崎フロンターレ	72	22	6	6	68	39	29
4	ガンバ大阪	58	17	7	10	53	42	11
5	大宮アルディージャ	56	15	11	8	41	36	5
6	サンフレッチェ広島	55	16	7	11	58	40	18
7	ヴィッセル神戸	55	16	7	11	56	43	13
8	柏レイソル	54	15	9	10	52	44	8
9	FC東京	52	15	7	12	39	39	0
10	横浜F・マリノス	51	13	12	9	53	38	15
11	サガン鳥栖	46	12	10	12	36	37	-1
12	ベガルタ仙台	43	13	4	17	39	48	-9
13	ジュビロ磐田	36	8	12	14	37	50	-13
14	ヴァンフォーレ甲府	31	7	10	17	32	58	-26
15	アルビレックス新潟	30	8	6	20	33	49	-16
16	名古屋グランパス	30	7	9	18	38	58	-20
17	湘南ベルマーレ	27	7	6	21	30	56	-26
18	アビスパ福岡	19	4	7	23	26	66	-40

※1~3位はチャンピオンシップにより決定。
※2017シーズンからコンサドーレ札幌、清水エスパルス、セレッソ大阪が昇格

AFC CHAMPIONS LEAGUE 2016 戦績表

節	月/日	曜日	対戦相手	スコア	会場
[予選リーグ/Eグループ]					
PO	2/9	火	チョンブリFC(タイ)	0-0	東京スタジアム
1	2/23	火	全北現代モータース(韓国)	1-2	全州ワールドカップスタジアム
2	3/1	火	ビン・ズオン(ベトナム)	0-3	東京スタジアム
3	3/15	火	江蘇蘇寧(中国)	0-0	東京スタジアム
4	4/6	水	江蘇蘇寧	0-2	南京奥林匹克体育中心
5	4/20	水	全北現代モータース	0-3	東京スタジアム
6	5/4	水祝	ビン・ズオン	0-2	ビン・ズオンスタジアム
[決勝トーナメント]					
R16-1	5/17	火	上海上港(中国)	0-2	東京スタジアム
R16-2	5/24	火	上海上港	0-1	上海体育场

※決勝トーナメント(R16)上海上港戦は、2戦合計の勝利数、得失点差は同数ながらアウェイゴール数で下回り敗退

2016 J.LEAGUE YBC Levain cup 戦績表

回戦	月/日	曜日	対戦相手	スコア	会場
QF1	8/31	水	アビスパ福岡	1-1	味の素スタジアム
QF2	9/4	日	アビスパ福岡	0-2	レベルファイブスタジアム
SF1	10/5	水	浦和レッズ	1-2	味の素スタジアム
SF2	10/9	日	浦和レッズ	1-3	埼玉スタジアム2002

※準決勝敗退

THE 96th EMPEROR'S CUP 戦績表

回戦	月/日	曜日	対戦相手	スコア	会場
R16	11/9	水	Honda FC	0-2	味の素スタジアム
QF	12/24	土	川崎フロンターレ	1-2	味の素スタジアム

※準々決勝敗退



2016 TOPICS

01 2016シーズンスタート



城福監督が6年ぶりに指揮を執り、2016シーズンがスタート。「Challenge the TOP~頂戦~」をスローガンに掲げ、チーム一丸となりタイトル獲得を目指す。

03 映画「BAILE TOKYO」公開



FC東京の2015シーズンを追ったドキュメンタリー映画「BAILE TOKYO」が全国で劇場公開。本作品主題歌にはRIP SLYMEがFC東京の試合からインスピレーションを受け楽曲制作した「Baile TOKYO」が使用された。



05 日本代表に森重選手・丸山選手が選出



森重 真人 丸山 祐市

2018FIFAワールドカップロシア アジア最終予選に臨むSAMURAI BLUE(日本代表)のメンバーに森重選手・丸山選手が選出された。

02 AFCチャンピオンズリーグ2016



AFCチャンピオンズリーグ(ACL)2016 プレーオフ チョンブリFC戦に9-0で勝利し、ACLグループステージへの進出を決める。グループステージを2位で通過し、迎えたラウンド16上海上港戦で2戦合計2-2となるもののアウェイゴールの差で敗退し、アジアへの挑戦は幕を閉じた。

04 オリンピック代表に室屋選手・中島選手が選出



室屋 成 中島 翔哉

2016リオデジャネイロオリンピック日本代表に室屋選手・中島選手が選出された。決勝トーナメント進出を逃すも主力選手として日の丸を背負い、帰国後もチームの勝利を手繰り寄せる活躍を見せた。

06 チームの再建を託された篠田監督



篠田 善之

7月26日、城福監督に替わり、2012年からチームに在籍する篠田コーチが監督に就任。監督就任後はJ1リーグ戦で8勝2敗2分の成績を収めた。

07 FC東京U-23を編成、J3リーグに参加



育成スピードの向上および若手選手の出場機会確保を目的にFC東京U-23を編成し、2016明治安田生命J3リーグに参加。試合に出場し経験を積んだ選手がJ1リーグのピッチで活躍する場面や、プロのレベルを肌で感じたU-18選手たちが日本クラブユース選手権優勝・Jユースカップ優勝の2冠を果たした。U-18所属の平川選手が10月30日 SC相模原戦でJ3リーグ最年少出場記録を更新。翌週の11月5日 AC長野パルセイロ戦で久保選手が出場し、Jリーグ最年少出場記録を塗り替えた。

2016 明治安田生命 J3 LEAGUE 年間順位表

順位	チーム名	勝点	勝	引分	敗	得点	失点	得失差
1	大分トリニータ	61	19	4	7	50	24	26
2	栃木SC	59	17	8	5	38	20	18
3	AC長野パルセイロ	52	15	7	8	33	22	11
4	ブラウブリッツ秋田	50	14	8	8	37	26	11
5	鹿児島ユナイテッドFC	50	15	5	10	39	29	10
6	カタレ富山	49	13	10	7	37	29	8
7	藤枝MYFC	45	14	3	13	48	42	6
8	FC琉球	44	12	8	10	46	46	0
9	ガンバ大阪U-23	38	10	8	12	42	41	1
10	FC東京U-23	36	9	9	12	32	31	1
11	SC相模原	35	9	8	13	29	46	-17
12	セレッソ大阪U-23	32	8	8	14	38	47	-9
13	ブルージャズ岡山	30	6	12	12	43	47	-4
14	福島ユナイテッドFC	30	7	9	14	35	44	-9
15	ガイナレ鳥取	30	8	6	16	30	47	-17
16	Y.S.C.C.横浜	20	5	5	20	15	51	-36

※1位大分トリニータがJ2昇格
※2位栃木SCはツエーゲン金沢(J2 21位)との入れ替わり戦に敗れ、J3残留

1999
▲ J2リーグ戦を2位で
終え、J1に昇格

2004
▲ ヤマザキ
ナビスコカップ
優勝(2回目)

2009
▲ ヤマザキ
ナビスコカップ
優勝(2回目)

2011
▲ 2016シーズン



ホームタウンの紹介

チームにご出資いただいている三鷹市、府中市、調布市、小平市、西東京市、小金井市の6市をはじめ、東京都全域をホームタウンとし、日々活動しています。

- A 事務所 アカデミー**
東京フットボールクラブ(株)本社
江東区猿江2-15-10
【TEL】03-3635-8985
FC TOKYO U-15 深川
江東区猿江2-15-10
- B FC東京 小平グランド**
小平市大沼町3-14-1
東京ガス武蔵野苑内
【TEL】042-342-8950
FC TOKYO U-18
小平市大沼町3-14-1
- C 味の素スタジアム事務所**
調布市西町376-3
味の素スタジアム内
【TEL】042-488-6255
- D FC TOKYO U-15 むさし**



スタジアム



C 味の素スタジアム
調布市西町376-3
【TEL】042-488-6255

フットサル場



E FC東京パーク
府中市宮町1-41-2 伊勢丹屋上
【TEL】042-314-1380

FC TOKYO U-23 スタジアム



F 味の素フィールド西が丘
北区西が丘3-15-1

G 江東区夢の島競技場
江東区夢の島1-1-2



H 駒沢オリンピック公園 総合運動場陸上競技場
世田谷区駒沢公園1-1



指定管理者

I 上井草スポーツセンター
杉並区上井草3-34-1
【TEL】03-3390-5707



J 小金井市総合体育館
小金井市関野町1-13-1
【TEL】042-386-2120



K 小金井市栗山公園 健康運動センター
小金井市中町2-21-1
【TEL】042-382-1001



L 妙正寺体育館
杉並区清水3-20-12
【TEL】03-3399-4224




2016シーズン ホームタウン活動



地域イベント 年間で35回の地域のイベントに参加し、子どもたちに人気のキックターゲットは延べ8,630名の方にお楽しみいただきました。ホームタウンのみならずコミュニケーションを図ることでよりよい関係づくりを目指しています。



選手会小学校訪問 「FC東京を身近に感じてもらうとともに、サッカーを通じて夢や感動を与えたい」という想いで選手会が企画・実施している小学校訪問は今年で9回目。東京都内の小学校を訪問し約1,100名の子どもたちと触れ合いました。



選手商店会巡回 日頃よりご支援・ご協力いただいている商店会を選手が訪問し感謝を伝える毎年恒例の「選手商店会巡回」。今年は48の商店会を訪問し、サイン会の実施や地域のみならずから激励の言葉をいただきました。

商店街との取り組み



ご出資いただいている6市やスタジアム周辺地域の街路灯にFC東京のバナーフラッグを掲出。新たに連雀通り商店街(三鷹市)がオリジナルのフラッグを制作しました。また、浅草新仲見世商店街(台東区)にはアーケード街にコラボデザイン横断幕が設置されました。



チラシ配布

ホームゲーム前にスタッフがユニホームを着て駅頭に立ち、試合告知のチラシを配りました。10月22日 鹿島アントラーズ戦の前には、石川選手が吉祥寺駅前に立ち、ホームゲームの告知を行いました。



小平市の日 吉本選手の「小平市観光まちづくり大使」の就任を記念し、8月20日 横浜F・マリノス戦で小平市のPRブースを設置する「小平市の日」を実施。小平市民の方を対象とした試合招待や特産物の販売を行いました。



FC東京パーク府中 FC東京が運営するフットサル施設「FC東京パーク府中」では、スクール活動、各種サッカー・フットサルイベントやレンタルコートだけでなく、夏まつりや星空観測会、夏には水遊び場など様々なイベントを開催し、老若男女たくさんの方にご来場いただきました。



指定管理者の更新 地域貢献活動やスポーツ振興への取り組みが評価され、上井草スポーツセンターにおいて杉並区の民間スポーツ団体では異例の3期目となる指定管理者の認定をいただきました。また、新たに妙正寺体育館を加えた4つの施設の指定管理者として、これからはチームの基本理念のもと、地域のみならず喜んでいただける取り組みを行ってまいります。



スタジアム

味の素スタジアム

住所 東京都調布市西町376-3
 電話番号 042-440-0555
 収容人数 49,970人

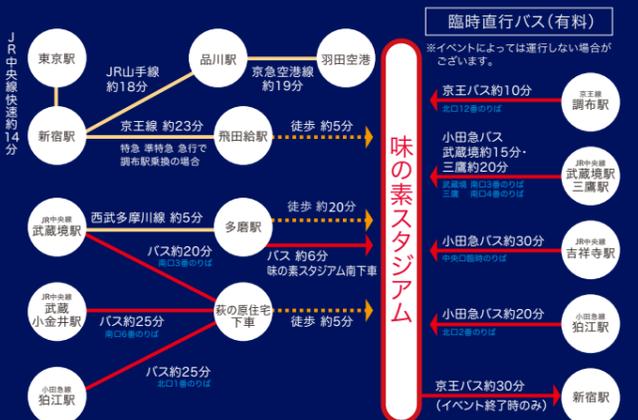


味の素スタジアムアクセス

新宿駅から飛田給駅まで京王線特急で約17分
 京王線準特急で約19分
 (飛田給駅臨時停車の場合)



アクセス別所要時間



マッチイベント

スタジアムのワンダーランド化を目指し、様々なイベントを実施。4月29日アビスパ福岡戦では、ご来場者20,000名様に「東京ガスライフバル Day 特製ハンドタオル」をプレゼント。試合前には、かつて選手としてFC東京に所属した「FC東京OB」によるエキシビションマッチを開催し、懐かしい選手たちのプレーでスタジアムを盛り上げました。



2016年 マッチイベント実施報告

月日(曜日)	対戦相手	イベント名
4/16(土)	川崎フロンターレ	ENEOS Day
4/29(金祝)	アビスパ福岡	東京ガスライフバル Day
5/29(日)	ガンバ大阪	三菱電機 Day
6/15(水)	サンフレッチェ広島	東京商工会議所 Day
6/18(土)	アルビレックス新潟	明治安田生命 Day
7/9(土)	ヴァンフォーレ甲府	Teddy Bear Day
7/17(日)	柏レイソル	すき家 Day
8/6(土)	ジュビロ磐田	ローソン Day
8/20(土)	横浜F・マリノス	umbro Day
8/31(水)	アビスパ福岡	YBCルヴァンキッズイレブン
9/10(土)	湘南ベルマーレ	りらいあコミュニケーションズの日
9/17(土)	浦和レッズ	AJINOMOTO Day
10/5(水)	浦和レッズ	YBCルヴァンキッズイレブン
10/22(土)	鹿島アントラーズ	東京都民銀行 Day
10/29(土)	ベガルタ仙台	ジーク Day

FC東京・市民スポーツボランティアとは

ホームゲームの運営などをサポートいただいているみなさんです。東京スタジアム(現 味の素スタジアム)のこけら落としでもあった2001年3月10日の1stステージ開幕戦に活動をスタートし、16年目となりました。2016年からはFC東京U-23のホームゲームにもご協力いただき、クラブと共に「安全で快適なスタジアムづくり」に取り組んでいます。



スタジアムでは、たくさんのイベントを実施しました。

オリジナルグッズのプレゼントや、人気マスコットとのふれあいなど様々なイベントを行いました。

ゲスト出演

ホーム開幕戦となる2月27日 大宮アルディージャ戦ではRIP SLYMEがゲスト出演。キックオフ前のスペシャルライブでは映画主題歌でもあるFC東京公認応援ソング「Baile TOKYO」を披露し、味の素スタジアムが盛り上がりました。



青赤横丁

ホームゲーム時に南側広場(アジパング広場)にて「青赤横丁」を開催。様々なイベントや自慢のスタジアムグルメをご用意し、ご来場者にお楽しみいただきました。



Jリーグ×映画「仮面ライダーゴースト」タイアップ

7月17日 柏レイソル戦にてタイアップ企画を実施し、味の素スタジアムに「仮面ライダーゴースト」と「仮面ライダーズペクター」、さらに同映画に出演するFC東京の応援番組リポーターもつとめる橘ゆりかさんが扮した「クレオパトラ」が登場。たくさん子どもたちが来場し、写真撮影会を行いました。



©2016劇場版「ゴースト・ジュウオウジャー」製作委員会
 ©石森プロ・テレビ朝日・ADK・東映
 ©2016 テレビ朝日・東映AG・東映

キリンドラフトカー登場

8月6日 ジュビロ磐田戦・8月20日 横浜F・マリノス戦の青赤横丁にキリンドラフトカーが登場。真夏にぴったりのビール企画で夏の暑さを吹き飛ばしました。



アトラクション

ひととき大きく目立つのが「東京ドロンパふわふわ」。その他、子どもたちが楽しめるアトラクションを実施しました。

- 東京ドロンパふわふわで遊ぼう!
- みんなでサッカーをしよう!
- ジュニア/キッズ体験カート



ヨガチケ!

10月22日 鹿島アントラーズ戦にて女性限定で販売された「ヨガチケ!」。「一般社団法人アスリートヨガ事務局」のご協力のもと、試合観戦とともに、開放感のあるスタジアムの雰囲気を楽しみながらヨガを体験していただきました。昨今のヨガ人気と観戦だけでなく体を動かしてみたいという女性のニーズを取り入れ、ヨガ初心者の方にも、サッカー観戦初心者の方にも楽しんでいただける企画を実施しました。



キッズクラブフェスティバル

8月21日に「2016キッズクラブフェスティバル presented by 森ビル」を開催。選手と子どもたちがアトラクションを通じてふれあい、笑顔あふれるイベントになりました。



12月3日に選手参加イベント「味スタ大集合♪」を開催。東京武蔵野シティFCとの公開トレーニングマッチやトークショーだけでなく、お楽しみ抽選会・サイン会などで選手とファン・サポーターがふれあいをし和やかなイベントとなりました。

味スタ大集合♪





社会貢献活動

社会貢献活動



東日本大震災復興支援募金

2011年に発生した東日本大震災の復興支援を目的とした被災地復興支援募金を実施。クラブ・選手会合同で活動し、TEAM AS ONEへ募金いたしました。



熊本地震災害に対する義援金募金

「熊本地震災害に対する義援金募金」をJ1リーグ戦4試合、AFCチャンピオンズリーグ2試合、J3リーグ3試合のFC東京ホームゲーム9試合にて実施しました。集まった義援金はJリーグを通じて熊本へ募金いたしました。



選手招待シート

トップチーム所属の選手たちが、地域に貢献したいという想いから、福祉施設のみならずサッカーが大好きな子どもたちをホームゲームにご招待しました。



熊本地震復興支援活動の実施

日本プロサッカー選手会主催の熊本地震復興支援活動にFC東京選手会が協力しサッカー教室を実施。熊本県内約100名の子どもたちと楽しい時間を過ごしました。

夢に向かってともに歩もうチャリティーマッチ

2011年東日本大震災の復興支援活動として、8月14日にいわきグリーンフィールド(福島県)にていわきFC(福島県社会人サッカー2部)とのチャリティーマッチを実施。収益の一部を復興支援金として「福島県東日本大震災子ども寄付金」へ寄付を行いました。

ブラインドサッカーへの協力

2020年パラリンピック種目に認定されている「視覚障がい者5人制サッカー(通称:ブラインドサッカー)」を多くの方に知ってもらおうと、7月24日 J3リーグ大分トリニータ戦にて体験イベントを実施。体験イベントでは実際に目隠しをつけ、ボールに触れることで競技の難しさ、奥深さを体験しました。



子ども若者育成支援プロジェクトの実施

困窮家庭にある子どもたちを対象に『子ども若者育成支援プロジェクト～サッカーでもっと子どもたちに広がる未来を～』を実施しました。FC東京のスタッフによるキャリア教育の講義や、試合当日の味の素スタジアムにてお仕事体験を行いました。



デフサッカークリニックの実施

子どもたちの将来への視野を広げるきっかけを作ることを目的とし、サッカーというツールを使い言語の違いを超え、自らコミュニケーションを取る積極性を身につけてもらいたいという想いでデフ(聴覚障がい)サッカークリニックを実施。タイと日本のろう者とスクール生が交流を深めながら共にサッカーを楽しみました。

「社会を明るくする運動」協力

更生保護の考え方に理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない、明るい社会を築こうとする運動を調布市と連携し告知活動を行いました。8月6日 ジュビロ磐田戦のスタジアム内に告知ポスターを掲出するほか、サッカーを通じて子どもたちに夢を与えるとともに、非行防止と健全育成に役立てることを目的として7月24日に中学生のサッカー教室を実施しました。

少年少女観戦送迎バスツアー

東京都内在住の子どもたちを送迎バス付きでホームゲームに招待する「少年少女観戦送迎バスツアー」を実施。多くの企業・団体様からCSR活動(企業の社会的責任)の一環としてご協賛いただきながら、子どもたちにサッカーの楽しさを伝え、夢を与えるお手伝いをしていきます。



東京都との取り組み



納税キャンペーンへの協力

4月29日 アビスパ福岡にて東京都主税局と協力し、納税キャンペーンを実施。PR動画に東京ドロンパが出演し、納期内納税の呼びかけを行いました。これらの活動に対し、東京都主税局から感謝状をいただきました。



人権啓発活動への協力

7月17日 柏レイソル戦にて東京都総務局と協力し、人権問題に取り組む啓発活動を実施。啓発グッズの配布や森重選手・米本選手が出演するメッセージ動画を、ハーフタイムに大型ビジョンにて放映しました。



「こころの東京革命」への協力

次代を担う子ども達の心を育む「こころの東京革命」。10月22日 鹿島アントラーズ戦にて東京都青少年・治安対策本部と協力し、PR活動を実施しました。告知動画に羽生選手・石川選手が出演し、子どもたちに対するメッセージを伝えています。



赤い羽根共同募金

10月22日 鹿島アントラーズ戦にて東京都共同募金会および共同募金調布地域協力会と共同で「赤い羽根共同募金」を実施。トップチームの選手やU-15選手らと共にご来場者へ募金の呼びかけを行いました。



ヘルプマーク普及啓発活動への協力

援助を必要とする方々のために作られた「ヘルプマーク」。10月29日 ベガルタ仙台戦にて東京都福祉保健局と協力し、普及啓発活動を実施しました。



復興支援ブース設置

10月29日 ベガルタ仙台戦にて東京都総務局と協力し福島・宮城両県の復興支援を目的としたブースを設置。特産品の販売やマスコットによるグリーティングを行いました。



児童虐待防止普及啓発活動への協力

10月29日 ベガルタ仙台戦にて東京都福祉保健局、多摩児童相談所と協力し児童虐待防止普及啓発活動を実施。これらの活動に対し、東京都福祉保健局より感謝状をいただきました。

国際交流活動



ネパール支援活動

日本政府が推進するスポーツによる国際貢献活動である「Sports for Tomorrow」の一環として、ネパール連邦民主共和国にて開催された復興支援プロジェクトの趣旨に賛同し、協力団体として参加。サッカー教室やバレーボール教室を開催し、参加した子どもたちに防災教育も合わせて行いました。



インドネシア・ジャカルタへ指導者短期派遣

国際交流基金アジアセンターとJリーグが主催する事業にFC東京が協力し、「Sports for Tomorrow」認定事業として、インドネシア・ジャカルタへコーチ派遣を実施。4回の派遣を通じて現地の子どものと交流を深めました。



独立行政法人国際協力機構との交流

クラブの国際化と社会貢献を目的に2014年からスタートした、独立行政法人国際協力機構(JICA)との国際交流。今年は38ヶ国の研修生を6試合に招待しました。



海外からの研修受入

AFC(アジアサッカー連盟)及びJFA(日本サッカー協会)に協力し、アジア各国のサッカー協会幹部や大学生などの研修の受け入れを実施。研修では先行事例としてFC東京のクラブ運営の説明や施設見学を行いました。



育成・普及活動

育成ビジョン

FC東京は、トップチームへの優秀な選手を輩出するために、勝者のメンタリティを兼ね備え自立した選手を育成し、攻守に支配するサッカースタイルを確立します。



選手育成コンセプト

- S Speed** スピード
- P Personality** 人間性
- I Insight** 洞察力・判断力
- R Race** 競争
- I Independence** 自立
- T Technique** テクニック

サッカースタイル

- A Attack**
ボールと人が考えて動く、攻撃的パスサッカー
- T Transition**
切り替え・ハードワーク
- C Collective**
攻守にプレーが連続
運動したコレクティブなサッカー
- P Possession**
ポゼッション
(ゴールを目指す・シュートで終わる)

FC TOKYO FC東京アカデミー出身選手※2016シーズン在籍選手



FC TOKYO U-18



- 第17回東京都クラブユースサッカーU-17選手権大会 優勝
- 高円宮杯U-18サッカーリーグ2016プレミアリーグEAST 2位
- 第40回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会 優勝
- 2016Jユースカップ第24回Jリーグユース選手権大会 優勝
- (Bチーム)高円宮杯U-18サッカーリーグ2016東京1部 5位

FC TOKYO U-15 深川



- 第20回東京都クラブユースサッカーU-13選手権大会 優勝
- 第23回東京都クラブユースサッカーU-14選手権大会 優勝
- 第31回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会 ベスト32
- 関東ユース(U-15)サッカーリーグ1部 6位
- 高円宮杯第28回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会 関東大会 3回戦進出

FC TOKYO U-15 むさし



- 第20回東京都クラブユースサッカーU-13選手権大会 準優勝
- 第31回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会 関東大会2回戦進出
- 関東ユース(U-15)サッカーリーグ1部 12位
- 高円宮杯第28回全日本ユース(U-15)サッカー選手権 関東大会 3回戦進出

2017年 トップチーム昇格選手



年代別日本代表



サッカーを通じて子どもたちに自ら取り組む姿勢を身に付けてほしい!

FC東京では幼児から中学生までを対象としたサッカー学校、フットサル学校を開校しています。女子限定学校や知的障がい児向けの学校も展開し、子どもたちにサッカーを通じて、多くの仲間と関わりながら自ら「考え」「取り組み」自分の人生をデザインしていく力を身につけていけるよう取り組みました。

2016シーズン サッカー学校



サッカーを通じてスポーツの楽しさを伝え、老若男女問わず気軽にスポーツを楽しめる環境づくりに寄与しています。各地域の行政や学校とも連携・協力を図り、幅広い活動を行いました。



FC東京のグラスルーツ宣言
サッカーを通じてスポーツの楽しさを伝え、人を育て、夢を育みます。仲間笑顔で包まれるような活動を増やし、東京を元気にします。

JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー認定

「JFAグラスルーツ宣言」に賛同し、Jクラブでは初めてのグラスルーツサッカーの環境改善を推進する「JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー」として認定されました。

サッカー学校

都内20箇所(スタッフ派遣校5校を含む)で行われているサッカー学校には約4,300名の子どもたちが在籍しています。サッカーを通じて子どもたちの人間的な成長を促し、トップチームの試合観戦やイベントを行いながら活動しています。



障がいのある子どもたちのサッカー教室実施

1人でも多くの子どもたちがサッカーを通じて楽しく元気に育ってもらうために、知的障がいを持つ子どもたちを対象にサッカー教室を開催しました。
・杉並区「きらきらサッカー教室」
・世田谷区「わくわくサッカー教室」
・調布市「にこにこサッカー教室」
・FC東京あおぞらスクール

キャラバン隊

教育委員会と連携した「キャラバン隊」。普及部コーチが小学校を訪問し、サッカーの楽しさを伝えるだけでなく自分で考え行動できるような働きかけをしています。3回の授業を通じて子どもたちの自立心の成長が感じられる貴重な体験授業です。

キッズマッチ

味の素スタジアムでの公式戦ホームゲーム前には株式会社ジーク様にご協力いただき「キッズマッチ」を実施しました。プロの選手と同じピッチで、都内のジュニアチームやスクール生が元気いっぱいプレーしました。



おとなのサッカー・フットサル教室

大人の方を対象とした「おとなのサッカー・フットサル教室」は「観るスポーツ」としてだけではなく実際にプレーすることで参加者の輪が広がり、今年は延べ1,300名の方にご参加いただきました。

普及部コーチの活動

普及部のコーチたちは、都内の様々な場所でサッカーを通じたふれあいを行いました。対象者のニーズに合わせて、子ども向けのサッカークリニック、親子サッカー教室、指導者講習会など、より多くの方々に楽しんでいただく機会を作り続けていきます。

FC東京サッカー学校フェスティバル

全スクール生を対象とした「FC東京サッカー学校フェスティバル」では、選手も参加し、ミニゲーム対決を行いました。プロの選手を相手に子どもたちは必死でプレーし、楽しい時間を共に過ごしました。



バレーボールチーム

東京ガスバレーボール部を前身とし、1986年地域リーグ(東部)に初参戦。1998年V1リーグに昇格。2003年「FC東京バレーボールチーム」へ移行し、2009年V・チャレンジマッチ(入替戦)に勝利し、V・プレミアリーグ昇格。



活動方針

1 バレーボールを通じた地域貢献

バレーボールを通じて青少年の健全な心身の育成および都民各層の健康や喜びづくりに寄与し、豊かなスポーツ文化の振興に貢献します。

2 バレーボールの普及と発展

バレーボールの競技人口拡大とレベルの向上を図り、生涯スポーツとしてバレーボールを楽しめる環境づくりに努めます。

3 自立した個人の集団の創造

常に勝利を目指す自立したトッププレイヤーの集まりであると同時に、社会人としてそれぞれが持つ仕事・責任を全うする「バレーボールと仕事を両立する集団」のロールモデルとなることを目指します。



2015/16シーズンの戦績



2015/16 V・プレミアリーグ男子順位表

順位	チーム名
1位	豊田合成トレフェルサ
2位	パナソニックパンサーズ
3位	東レアローズ
4位	ジェイテクトSTINGS
5位	JTサンダーズ
6位	堺ブレイザーズ
7位	サントリーサンパーズ
8位	FC東京

- 平成27年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 ベスト8
- 第65回 黒鷲旗 全日本男女選抜大会 ベスト8

普及活動

「バレーボールを楽しむ、もっと好きになる」「チャレンジする」をコンセプトに、FC東京バレーボールチームの選手たちによる「バレーボール教室」を2002年から開催。基本プレーを中心に、子どもたちの世代ごとの発育・発達を考慮した技術指導を行っています。2016年度は、東京都内の小学生～高校生を対象に7回実施、994人が参加しました。また、18歳以上の女性を対象の「駒沢バレーボールコミュニティ」や「小金井バレーボールスクール」、小学生を対象とした「墨田バレーボール教室」など、FC東京バレーボールチーム指導専門スタッフによるレッスンも定期的実施。その他、指導専門スタッフがチームの練習場へ赴き実地指導をする、出張指導も行っています。



2016年度 バレーボール教室開催報告

開催名称	開催日	場所	参加人数
杉並区中学生バレーボール教室	7月10日(日)	高井戸中学校体育館	119人
高校生バレーボールスキルアップセミナー	7月18日(月・祝)	東京電機大学中学校・高等学校体育館	50人
第1ブロック中学生バレーボール教室	7月24日(日)	立正大学付属立正中学校・高等学校体育館	260人
品川区小学生バレーボール教室	7月30日(土)	第一日野小学校体育館	95人
第6ブロック中学生バレーボール教室	8月1日(月)	TG深川体育館	93人
第9ブロック中学生バレーボール教室	8月2日(火)	府中市立府中第六中学校体育館	232人
東村山市中学生バレーボール教室	8月6日(土)	日体桜華高等学校体育館	145人

練習場

東京フットボールクラブ株式会社
〒135-0003 江東区猿江2-15-10
東京ガス深川グラウンド内
TG深川体育館



チームマスコット

FC東京のオフィシャルマスコット、東京ドロムパ。その高い身体能力を活かしてピッチ内外でスタジアムを盛り上げます!!

愛称「東京ドロムパ」

1998年10月1日、港区麻布狸穴町(まみあなちょう)で生まれる。六本木と東京タワーのほぼ真ん中に位置する狸穴町、いわゆる生粋の都会っ子である。遊び場はもちろん噴水の素敵な狸穴公園。知らぬ間にパッと現れ、ドロムといなくなることから、いつしか仲間から「東京ドロムパ」と呼ばれるようになった。東京タワーのそばに棲んでいるドロムパだから、「東京ドロムパ」というわけである。狸の世界では誰もが認める東京ファンである。そんな彼にオフィシャルマスコット招聘のオファーが届き、チームマスコットとなった。2016年にはTokyo Dorompa CHANNEL (YouTube)を開設し、活躍の場を広げている。



2016シーズンクラブスポンサー

エネコ エネルギー・フロンティア TOKYO GAS 三菱商事 ENEOS MITSUI & CO.

清水建設 東京都民銀行 TOKYO TOMIN BANK TOKYO MX

umbro KIRIN SHIPS amino VITAL 東京西川

TOKYO GAS LIFEVAL LAWSON MOL 商船三井 Eat Well, Live Well. AJINOMOTO. 住友商事 明治安田生命

MITSUBISHI ELECTRIC TLT 東京エレクトロン 栗田工業株式会社 OSSO ITALY 大矢運送 JFE 日本郵船

関電工 NIPPO co-op deli 有楽家 日鉄住金P&E MALAYSIA LNG TURKISH AIRLINES

Astro 株式会社 アストロ IHI Realize your dreams 大林組 鹿島 クレスコ Sunshine City

J:COM 西鉄旅行 acer 大成建設 大成建設 TOKYO GAS GROUP 東京ガスiネット TOKYO GAS ENGINEERING SOLUTIONS 東京ガス都市開発

SEIKO Dr.ストレッチ 新菱冷熱 ニシヤマ TOMAS イーデザイン損保

ネットワーク 水道センター 明治ヨーグルト R1 セントラル信託FX XSCORE オフィスパーティション ナイテックス HIS

SPORTS DEPO さぼてん ニチパン